

社会福祉法人 同愛会

利用者の笑顔を守るために

Data

対象事業：社会福祉事業

対象リスク：自然災害全般

被災シナリオ：冬の夕方震度6強の地震が発生

事業継続策：①利用者の生命・生活の維持に向けた事業の継続
②事業所エリア分けし、拠点事業所と役割・対応の
明確化



企業名 社会福祉法人 同愛会
代表者名 菊地 達美

Q 御社の事業内容は？

当法人は社会福祉事業を行っており、県内に障害関係、高齢関係、児童関係の各事業を展開しています。人と人との関わりを大切にし、福祉サービスを利用する方の多様なニーズに応えられるよう、地域性に合わせた形で取り組んでいます。

Q 今回BCP策定に取り組まれた理由を教えてください。

災害等により事業が継続できない場合、福祉サービス利用者の生命・生活に重大な影響が及ぶことが考えられます。そのため、災害等が発生した場合でも被害を最小限に抑え、事業を継続し利用者の生命・生活を守らなければならないという社会福祉法人としての社会的責任があるため、今回BCPを策定するに至りました。

Q 策定したBCPの主な内容（ポイント）を教えてください。

事業所が県北地域を中心に、宇都宮市、芳賀郡、塩谷郡と県内の広範囲に所在しています。そのため、多くの機能を備え持つ各地域の拠点となる事業所を選定し、エリア内の各事業所との連携、連動性を重視した仕組みを作りました。また、社会福祉法人の公益性の観点から、自事業所の運営に支障が少ない際は、地域に目を向け、要援護者の受け入れや職員の派遣などを積極的に行うことを内容に盛り込みました。

Q 今後の課題と方向性について教えてください。

まず、各事業所がBCPを共有し、連携を図っていきます。今後については法人内のみならず、他法人や地域との連携の強化を図っていくことも考えています。また、策定したBCPが機能するよう、内容を定期的に再検討するとともに、有事の際に備え、職員全体へ浸透させていきたいと思っています。

Q BCPを策定した感想をお願いします。

社会福祉法人、特に入所施設は特性上、事業の停止が利用されている方の生命・生活に直結するため、事業継続は必要不可欠であることを再認識しました。そのことを念頭に置き、福祉サービスを利用される方や地域住民の生活を守るよう、BCPの成熟と定着が必要だと感じています。

商号	社会福祉法人 同愛会
本社所在地	栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ木 1057-1
設立	平成7年法人本部を東京都から 栃木県に移転
資本金	0円
従業員数	234名
代表者	菊地達美
事業内容	社会福祉事業
URL	http://www2.ocn.ne.jp/~makinori/